



やくそく 約束するとき、どうしてゆびき 指切りするの

やくそく まも 約束を守るために、ゆびき 指を切り、やぶったらげんこまんかい 拳固で万回たたく

あなたは、お友達と「指切り拳万 うそついたらはりせんぼんの 指切りをしたことがありますか。「指切り」とは、やくそく まも 約束を守るしるしとして、たがいに手の小指をからませあうことをいいますね。

「拳万」というのもおなじ意味で、指を切つてまでやくそく まも 約束したのだから、これを守らなかつたら、拳固で万回たたくということです。

そのうえ、針を千本飲ませるぞというのですから、こわいですね。

本当にそんなことはしないけれど、必ず、やくそく まも 約束を守ろうね、といっているのですね。

昔は、子どもたちの間では、けんかして仲直りするときなどに、たがいに指をからめて指切りをしたことがありました。

ゆび 指ということばをつか 使った、いろいろない かた 言い方

- ・指折り = たくさんあるなかで、指を折つて数えられるほど優れていること。(例)「日本で指折りの学者」
- ・指をくわえる = ほしいものがあるのに、手を出せないでいる様子。(例)「自分だけ指をくわえて、見ているわけにいかない。」
- ・指一本も差させない = ほかのひとに、ひなん 非難やかんしょうをさせないこと。(例)「他人に指一本も差させない自信がある。」

